

(2022年9月7日配信)

NHK ラジオ深夜便 「明日へのことば」 9月14日(水)4時台

「戦没捕虜追悼への思いを込めた28年」

出演 関田 寛雄 青山学院大学名誉教授



(写真:左:関田寛雄氏。2017年、2018年横浜保土谷 英連邦墓地戦没捕虜追悼礼拝から)

聞き手 坂口憲一郎



この夏も、横浜保土谷の英連邦墓地で、戦没捕虜追悼礼拝が開かれた。ここには、日本で亡くなった英連邦捕虜、1800人余りが眠る。戦後50年の第一回追悼礼拝から、「平和への思い」を語り続けてきた関田寛雄さん、94歳。

関田さんは、牧師の子として生まれ、幼くして洗礼を受ける。

小学生の時、キリスト教徒はスパイだ、スパイの子だとして、上級生に取り囲まれ暴力を受けた経験を持つ。生い立ちに悩み、軍国少年として日本人の見本となるべく、武道に励み、軍事教練の配属将校から陸軍士官学校推薦を受けるも、敗戦で世の中、価値観がらりと変わる。これからどう生きるのか、たどり着いたのは「隠されているもので顕れないものはない。真実は、やがて現れるべく、今は隠されている。」という聖書の言葉だった。この言葉に出会い、平和を追い続け、反戦平和が、生きる心の支えとなった関田寛雄さんのお話。